

# 法政大学出版局◎2023年書物復権復刊書目決定!!

毎年恒例の〈書物復権〉共同復刊、2023年は第27回を数えます。決定した復刊書目は、10社で41点41冊と、充実したリストをそろえることができました。小局は以下の5点を復刊致しますので、店頭にて展開いただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2023年5月18日配本 定価9020円(本体8200円+税) K.R. ポパー 著／藤本隆志、石垣壽郎、森 博 訳 <b>推測と反駁</b> 〈新装版〉科学的知識の発展 「過ちから学ぶ」という人間知の基本的なあり方を踏まえ、「批判的合理主義」を唱導するポパーが、古典ギリシアの哲学者たちからヴィトゲンシュタインにいたる諸家の思想を縦横に批判するとともに、物理学・社会学から精神分析や言語学にわたる諸問題を考察する。科学論、社会論、知識論など、広範な分野に影響を及ぼし、ポパー哲学の骨格を築いた大著。 ISBN978-4-588-09917-5 C1310	四六判上製・808頁 《叢書・ユニベルシタス95》
帖合・番線	部数	法政大学出版局 2023年5月18日配本 定価4840円(本体4400円+税) G. バシュラール 著／及川 馥 訳 <b>水と夢</b> 〈新装版〉物質的想像力試論 原初の生命に力を与えた物質、水。かぎりない流動性をもち、海水にも淡水にも、泥にも乳にもなるこの生成のエレメントは、知覚し想像する人間に、ときには母の穏やかな幸福を、ときには冷たく孤独な死の危険をあたえる。詩句や神話に表現された水の想像力への「物質主義的」分析が、新しい文芸批評(ヌーヴェル・クリティック)の時代を予見させた記念碑的な著作。 ISBN978-4-588-14030-3 C1310	四六判上製・374頁 《叢書・ユニベルシタス898》
帖合・番線	部数	法政大学出版局 2023年5月18日配本 定価3300円(本体3000円+税) L. ヴイトゲンシュタイン 著／藤本隆志、坂井秀寿 訳 <b>論理哲学論考</b> 「語りえぬものについては、沈黙しなければならない」。原著の刊行から100年にわたって読まれ続け、現代哲学の方向性を決定づけた記念碑的著作『論理哲学論考』と、後期思想の代表作『哲学探究』抄訳を収録。1968年刊行、第5回日本翻訳文化賞を受賞した名訳の復刊。 ISBN978-4-588-00006-5 C1310	四六判上製・350頁 《叢書・ユニベルシタス6》
帖合・番線	部数	法政大学出版局 2023年5月18日配本 定価6820円(本体6200円+税) 木下千花 著 <b>溝口健二論</b> 映画の美学と政治学 トーキー化と長回しと縦の構図によって時空間を変容し、植民地主義や女性の人権蹂躪など矛盾をはらむ重層性を女性の身体を通して露呈させ、占領下の女性の解放を言祝ぎ、贈与交換に基づく権力関係に立脚した欲望を演出し、「映画」概念を拡張し続けた溝口健二に對峙する。ショットの分析記述、検閲記録や撮影台本などの一次資料調査、映画史、映画理論、メディア論、身体論、ジェンダー論など学際的な横断において映画学が本来有する力を発揮する画期的研究。芸術選奨文部科学大臣新人賞、表象文化論学会賞受賞!! ISBN978-4-588-42017-7 C1074	A5判上製・638頁
帖合・番線	部数	法政大学出版局 2023年5月18日配本 定価4730円(本体4300円+税) ウェンディ・ブラウン 著／向山恭一 訳 <b>寛容の帝国</b> 現代リベラリズム批判 宗教、政治、人種、エスニシティ、ジェンダーなどを越えて、〈他者〉に対して寛容であるとはどういうことなのか? 本書は、M・フーコーの影響を強く受けつつ、政治思想史だけでなく、批判理論、フェミニズム、ポスト構造主義の領域を横断的に論じる著者が、倫理的な美德や道徳的価値として推奨される寛容という言葉に内在する、その規制的で生産的な権力作用を徹底的に解剖する。 ISBN978-4-588-60313-6 C3330	四六判上製・370頁 《サピエンティア13》

ご担当者様 氏名: [ ]

\* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名をご記入下さい。

\* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせください。次回以降訂正いたします。

**法政大学出版局**

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3

Tel. 03-5214-5540 Fax. 03-5214-5542